

2026年度

地 理

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙の決められた箇所に記入してください。
3. 試験開始後、解答用紙に氏名・受験番号を記入してください。
4. 試験問題はこの冊子の1～17ページに記載されています。

問題冊子の白紙部分は、メモとして使用して構いません。

5. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 工業の発展と地域再編について述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。
なお、文中の同一記号は同一内容を示している。

工業は、原材料に付加価値を加えて有用な製品を生み出す産業である。現代の人々が享受する豊かな生活は、工業の発展によって可能になった^①といっても過言ではない。それは単にさまざまな製品が世の中にあふれるようになったという側面だけではなく、良質な雇用機会を膨大に生み出し分厚い中間層の形成を可能にしたという側面からもいえる。

ただし、工業の発達が中間層の厚みを顕著にもたらすようになるのは、重化学工業が目覚ましく発達する第2次 が進展した20世紀以降のことである。17世紀～18世紀にかけては手工業が中心で、多くの人々は第1次産業に従事していた。第1次 ^②によって工場制機械工業が普及した19世紀には、むしろ過酷な労働環境が問題視されるような状況であった。

さらに、20世紀の後半になると、先進国や新興国間での競争激化や、工場の海外移転などによって、良質な雇用機会の減少問題が表面化したため、産業構造の高度化^③が求められるようになった。この流れは、新しい技術やアイデアを実現して社会に変革をもたらす をめぐる世界的競争が激化する背景ともなっている。また、その担い手として、既存の大企業だけではなく、独創的な技術や高度な知識をもとに起業して短期間で急成長する 企業にも注目が集まっている。

一方で、産業構造の高度化が進んだ国々でも、結局はかつてのような分厚い中間層を維持できるだけの雇用機会を生み出し得ていないのが現状である。そのため、古くからの工業地帯の斜陽化による地域経済の衰退が問題になっている。そして、^⑤産業の高度化に対応できた人々や地域と、そうではない人々や地域の間での利害対立^⑥が先鋭化し、国内での分断が深刻化する弊害も起きている。その一つの帰結が、トランプ大統領の誕生であるとの指摘もある。その有力な支持基盤は、1960年代まではアメリカ合衆国の経済の中心であり重工業が集積してきたが、現在は^⑦ と呼ばれる地帯である。

〔問い〕

(1) 文中の空欄 a～d にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。なお、空欄 b と c はそれぞれカタカナ 7 文字で記すこと。

(2) 文中の下線部①～⑦に関する以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①について、次の表 1 はいくつかの国の工業付加価値額の推移と 2022 年の 1 人当り工業付加価値額を示したものであり、表 1 中の A～E は、インド、シンガポール、日本、ノルウェー、ブラジルのいずれかである。ノルウェーとブラジルに該当するものを、表 1 中の記号 A～E の中からそれぞれ選びなさい。

表 1 各国の工業付加価値額の推移

国名	1990年 (億ドル)	2000年 (億ドル)	2010年 (億ドル)	2022年 (億ドル)	1 人当り (ドル)
A	354	631	1,522	2,919	53,487
B	112	312	639	1,184	20,951
C	17,273*	16,154	16,319	11,457	9,298
D	1,281	1,508	5,140	4,454	2,118
E	881	1,280	5,148	8,479	595

『データブック オブ・ザ・ワールド 2025』より作成。

*1994年のデータである。

2. 下線部②について、世界の工業化を先導したイギリスで、その主軸となって機械化による生産が拡大した製品と、それ以前の工場制手工業時代には生産が盛んであったが機械化生産は出遅れた製品をそれぞれ答えた上で、それぞれの製品生産にとって重要であったイギリスの自然条件について、次の語群の用語を全て用いて 100 字程度で説明しなさい。

【語群】

ペニン山脈 偏西風

3. 下線部③について、先進国以外に工場が分散してグローバルなサプライヤーシステムが構築されるようになった背景として、コンテナ輸送の登場がある。コンテナ輸送の特徴を、貿易の活発化を後押しする側面に焦点を当てて、80字程度で説明しなさい。

4. 下線部④に関連して、以下の問いに答えなさい。

1) 下の図1は、いくつかの国における産業構造を示したものであり、A～Dはインド、コンゴ民主共和国、ドイツ、メキシコのいずれかである。BおよびCに該当する国名を次の選択肢 ア～エの中からそれぞれ選びなさい。

【選択肢】

ア インド

イ コンゴ民主共和国

ウ ドイツ

エ メキシコ

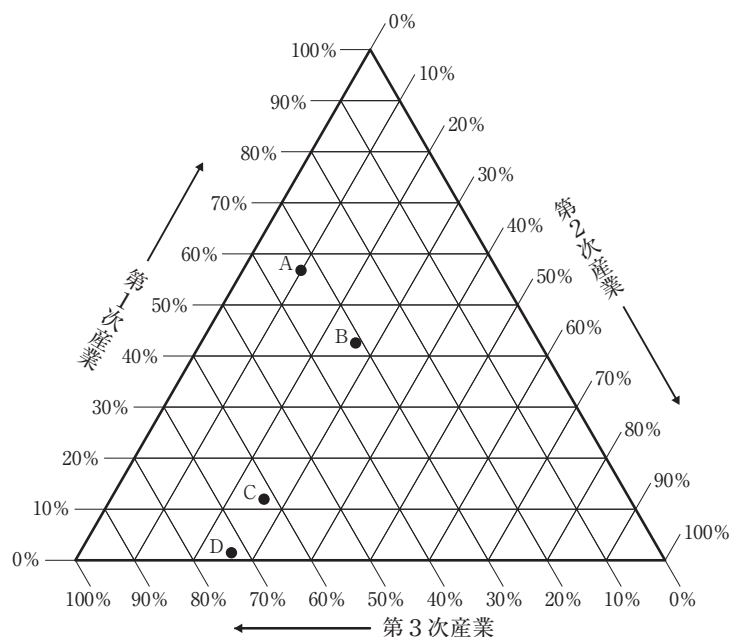


図1 産業別人口構成（ILOモデル推定）（2022年）

『世界国勢図会 2024/25』より作成。

2) 次の表2は、いくつかの国におけるGDP(国内総生産)に占める研究開発費の割合、製薬産業の研究開発費、情報通信産業に関する特許出願数を示したものである。表2中の記号A～Dは韓国、スイス、トルコ、フランスのいずれかである。フランスに該当するものを、表2中の記号A～Dの中から一つ選びなさい。

表2 各国の研究開発の状況(2021年)

	A	B	C	D
GDPに占める研究開発費の割合(%)	4.6	3.3	2.2	1.4
製薬産業における研究開発費(百万ドル)	2,865	5,911	3,104	401
情報通信産業に関する特許出願数(件)	6,649	293	1,115	126

『OECD Main Science and Technology Indicators』より作成。

5. 下線部⑤について、衰退した旧工業地帯の再生を説明した文として不適切なものを、次の選択肢 ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

【選択肢】

- ア エッセンでは、旧炭鉱群を産業遺産として保護の対象とし、観光やデザイン教育に活かしている。
- イ サンフランシスコでは、遊休化していた倉庫を活用する形でマルチメディア産業が勃興し、現在はテック企業が集積するようになった。
- ウ 東京では、工場跡地にタワーマンションや複合商業施設が建設される再開発が顕著となっている。
- エ ビルバオでは、旧工業地帯に世界的にも有名なテーマパークを建設し、観光客の増加と共に都市イメージの向上に繋げている。

6. 下線部⑥について、次の表3は、いくつかの産業における従業者数と、その全都道府県に占める東京都の割合を示したものであり、表中の A～D は卸売・小売業、宿泊業・飲食サービス業、情報通信業、製造業のいずれかである。情報通信業および製造業に該当するものを、表3中の記号 A～D のの中からそれぞれ選びなさい。

表3 日本の産業別従業者数と東京都の占める割合(2021年)

産業	全従業者数(人)	東京都が占める割合(%)
A	11,612,174	17.0
B	8,804,194	6.4
C	4,701,797	15.7
D	1,987,138	54.6

『令和3年度経済センサスー活動調査』より作成。

7. 下線部⑦について、1960年代までアメリカ合衆国の経済を牽引していた重工業地帯のおよその範囲として最も適切なものを、図2中の記号 A～D のの中から選びなさい。

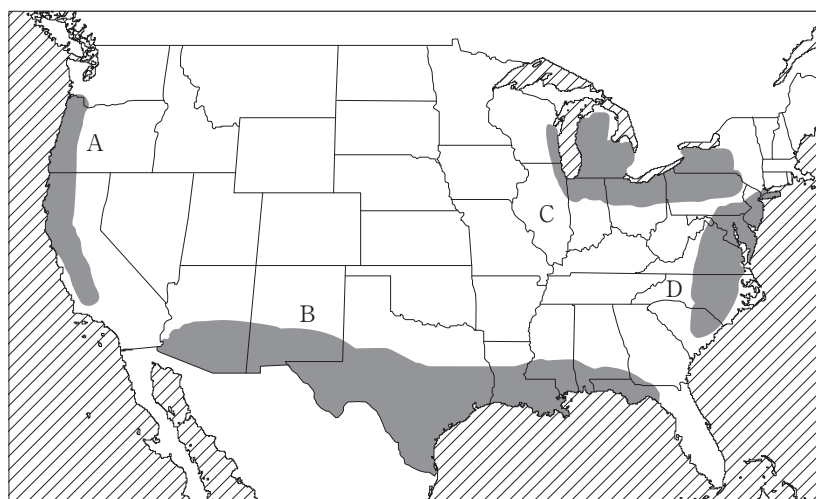


図2 アメリカ合衆国の地図

Ⅱ オセアニアについて述べた次の文と図1を読み、以下の問いに答えなさい。

オセアニアは、3つに区分される島嶼群と、南半球に位置するオーストラリア大陸から成る広大な地域である。3つの島嶼群のうち、a (小さな島々)は、^①グアムを含むほぼ赤道以北、経度180度以西に位置する島々である。b (黒い島々)は、パプアニューギニアをはじめとする赤道以南、経度180度以西に位置する島々である。c (多くの島々)は、最南端のニュージーランド、最北端の^②ハワイ諸島、南東端のラパヌイ(イースター)島を結ぶ大きなトライアングルに位置する島々である。

③ 広大な海域に点在するこれらの島嶼群は、ニューギニア島やニュージーランド、ハワイなどを除けば総じて人口が少なく、経済的にも脆弱な国家が多い。多くの国・地域の主産業は自給自足に近い小規模な農漁業で、観光産業の規模も小さい。一方で、これらの国々は国土となる陸地に比して広大な排他的経済水域を有している。

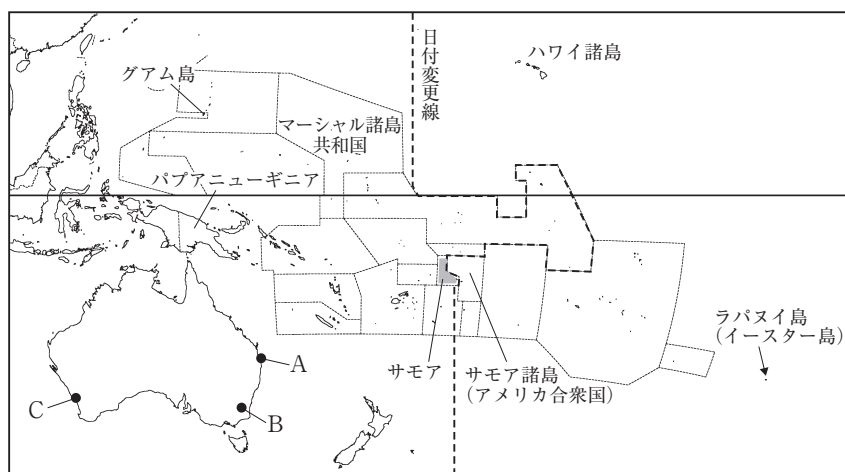


図1 オセアニア

〔問い〕

(1) 文中の空欄 a～c にあてはまる用語をそれぞれ答えなさい。

(2) 文中の下線部①～③に関する以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①について、以下の問いに答えなさい。

1) オーストラリアを中心とする経済協力組織について述べた次の説明文を読み、空欄Xにあてはまる用語をアルファベットの略称で答えなさい。

【説明文】

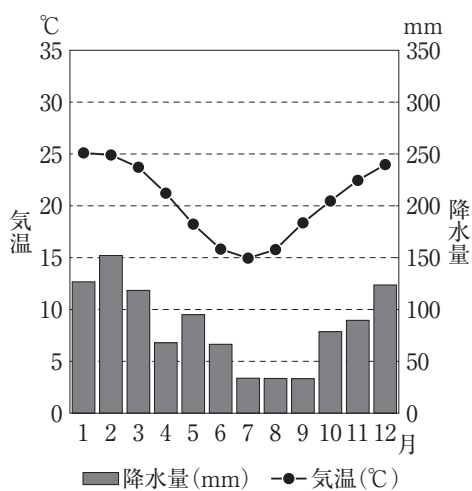
1989年にオーストラリアの提唱で始まった

X

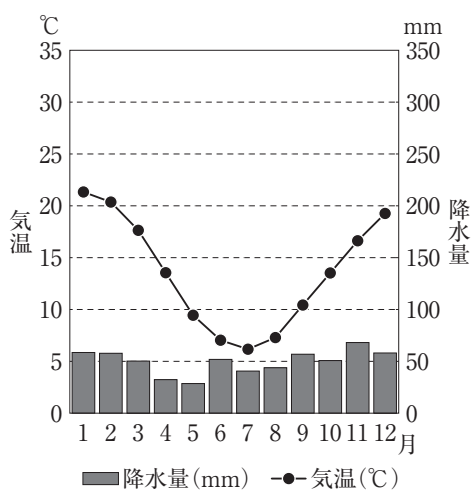
 は、アジア太平洋地域の持続可能な成長と繁栄を目的とした経済協力組織であり、21の国と地域が加盟している(2024年時点)。

2) 次の図2はオーストラリアの都市 A～C の雨温図を示したものである。

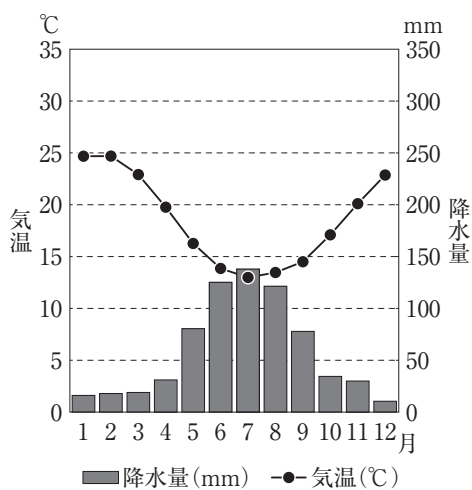
図1中のAの都市にあてはまる雨温図を図2中の選択肢 ア～ウの中から一つ選び、記号で答えなさい。



ア



イ



ウ

図2 雨温図

『気象庁 世界の地点別平年値』より作成。

- 3) 次の説明文 あ～う は、図1中の A～C の各都市の特徴について述べたものである。図中のBに該当するものを次の説明文 あ～う の中から一つ選び、記号で答えなさい。

【説明文】

- あ 計画的に建設された政治都市で、放射環状路型の道路網をもつ。
 い シドニー、メルボルンに次いで第三の都市と呼ばれ、2032年のオリンピック・パラリンピック開催都市である。
 う 19世紀末に内陸部のゴールドラッシュとともに発展した都市で、大陸横断鉄道の起点の一つである。

- 4) 次の図3は、オーストラリアの貿易相手国の推移を示したものである。図3中の X～Z にあてはまる国名の組合せとして正しいものを、次の選択肢 a～f の中から一つ選び、記号で答えなさい。

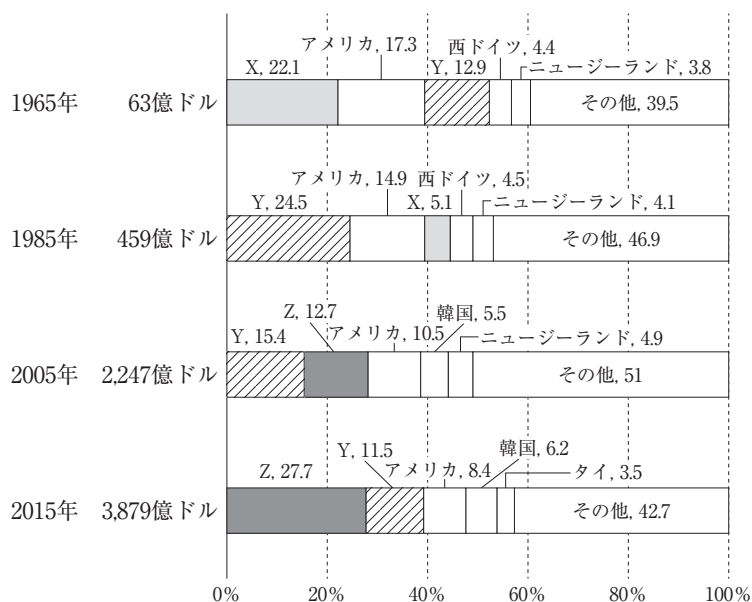


図3 オーストラリアの貿易相手国の推移

『地理の研究』より作成。

【選択肢】

	a	b	c	d	e	f
X	日本	日本	中国	中国	イギリス	イギリス
Y	中国	イギリス	イギリス	日本	中国	日本
Z	イギリス	中国	日本	イギリス	日本	中国

5) オーストラリアの移民政策は、1970年代に大きく変化した。その時に廃止された政策の名称と、それにかわって取られた新たな政策の考え方に言及しながら、移民政策の変化を70字程度で説明しなさい。

2. 下線部②に関連して、以下の問いに答えなさい。

1) 次の図4は、再生可能エネルギーの利用が活発なアイスランド、ニュージーランド、ノルウェーの発電量の構成割合を示したものである。図4中の記号 ア と イ にあてはまる発電方法をそれぞれ答えなさい。なお、図4中の同一記号は同一内容を示す。

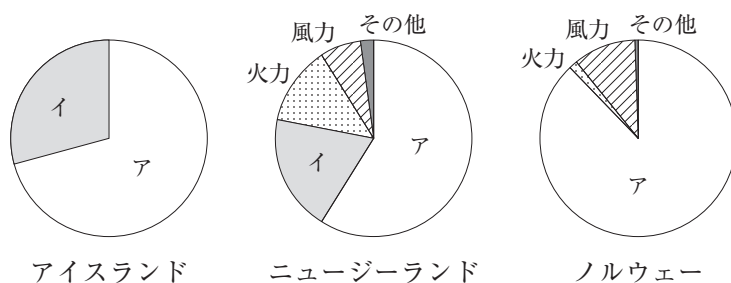


図4 主な国の発電量の割合(2022年)

『データブック オブ・ザ・ワールド 2025』より作成。

2) 次の説明文を読み、空欄AとBにあてはまる用語を答えなさい。

【説明文】

ニュージーランドは、西側の A プレートと東側の B プ
レートの境界上に位置する。

3) ニュージーランドの農業について、国際競争力が高い理由を、ニュージーランドの位置に言及しながら、次の語群の用語を全て用いて60字程度で説明しなさい。

【語群】

果物 チーズ 端境期 東アジア ワイン

3. 下線部③について以下の問いに答えなさい。

1) 図1中の日付変更線は、2011年にサモアの西側から東側に引き直されたものである。その結果、サモア諸島(アメリカ合衆国)との間に日付変更線が引かれることになった。この時生じた変化について述べた文として、最も適切なものを、次の選択肢 あ～え の中から一つ選びなさい。

【選択肢】

- あ サモアへの観光客が急増した。
- い サモアとニュージーランドやオーストラリアとの経済取引が以前より円滑になった。
- う サモアとサモア諸島(アメリカ合衆国)の間で経済摩擦が激化した。
- え サモアが最も遅く新年を迎え、サモア諸島(アメリカ合衆国)が最も早く新年を迎えるようになった。

- 2) ラロトンガ条約締結の背景について述べた次の説明文を読み、この条約について述べた下の選択肢 あ～えの中から不適切なものの一つを選びなさい。

【説明文】

オセアニアは、第二次世界大戦後、欧米の軍事基地や核実験場となってきた。20世紀半ばにアメリカ合衆国による核実験が繰り返された。とくに1954年にマーシャル諸島のビキニ環礁で行われた水爆実験の被害は極めて大きく、ビキニ環礁周辺に暮らす住民たちは住み慣れた島からの移動を余儀なくされ、被爆者の健康被害は今なお続いている。これを受けて、オセアニアでは、世界的な恒久平和を目指す運動や環境保護運動が盛んに行われてきた。1985年のラロトンガ条約の締結以後にも何度か実験は行われたが、1996年以降は同地域内での核実験は完全に停止された。

【選択肢】

- あ 南太平洋に非核地帯を設置する。
- い 南太平洋への核兵器の持ち込み、開発、製造、貯蔵、使用などを禁止する。
- う 南太平洋での放射性廃棄物の海洋投棄を禁止する。
- え 南太平洋の島嶼のみならず、領土を有す欧米諸国も全て批准している。

Ⅲ 地球規模の課題とSDGs（持続可能な開発目標）について述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。

グローバル化とともに、地球規模の課題の重要性が増している。地球規模の課題には、地球全体に共通する側面とローカルに現れる格差・差別にかかわる側面とがあるが、この両者は重なっている。地球温暖化の影響は世界各地に広がっている一^①方で、被害の現れ方が地域によって多様なのは、その一例である。

SDGsは、環境問題の他に、貧困やジェンダーなどに関する目標を掲げている。SDGsの諸目標はそれぞれの前史をもっているが、その一つがリプロダク^②ティブ・ヘルス／ライツ(Sexual and Reproductive Health and Rights)である。「性と生殖に関する健康と権利」と訳されるこの概念は、女性の人生に対する自己決定権を尊重することが、人口や健康などの問題にとっても重要だという認識を示し^③ている。

SDGsの目標10が「人や国の不平等をなくそう」と掲げているように、グローバル化による人、物、情報などの移動の拡がりには、必ずしも平等化をもたらすものではない。また、国境などによる障壁や対立もグローバル化の中で残存している。鉱^④物などの天然資源にかかわる争いも、今日に続いている。中でも、半導体や超伝導材料などに不可欠で地球全体で希少な^⑤レアメタル、その一種で中国が世界生産量の過半を占めるレアアースなどは、政治的取引や国際紛争にも深くかかわる。

食料や農産物の輸出入も、途上国と先進国との格差などを反映している。^⑥食料問題も、世界全体の課題であると同時に、一人一人の生活や経済状況に直結している。

〔問い〕

文中の下線部①～⑥に関する以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①について、地球温暖化を主要な原因とする現象として適切でないものを次の選択肢 あ～お の中から2つ選び、記号で答えなさい。

【選択肢】

- | | |
|---------------|------------|
| あ サンゴ礁の白化 | い 氷河の融解 |
| う 海洋プラスチックの増加 | え 生物多様性の減少 |
| お オゾン層破壊 | |

2. 下線部②について、SDGsの歴史的な背景となる次の出来事 あ～え を年代順に並べたとき、2番目と3番目にくるものを選び、記号で答えなさい。

【出来事】

- あ 172カ国の首脳が参加した、環境と開発に関する国際連合会議(リオデジャネイロ)の開催。
- い 国連環境計画(UNEP)設立の契機にもなった国連人間環境会議(ストックホルム)の開催。
- う 国連によるMDGs(ミレニアム開発目標)の策定。
- え 持続可能な開発の概念を世界に広めることになった国連環境と開発に関する世界委員会が報告書「我ら共有の未来」を発表。

3. 下線部③に関連して、地域における人口動態には、自然増減と社会増減の側面がある。次の表1は、アメリカ合衆国、ウクライナ、韓国、ドイツ、バングラデシュの自然増減、社会増減を示したものである。表1中のAとCに該当する国名をそれぞれ答えなさい。

表1 人口の増減(将来推計)(2022年)(単位千人)

	自然増減数	社会増減数
A	−268.5	154.6
B	582.2	998.5
C	2,087.5	−310.0
D	−591.3	−6,673.6
韓国	−56.4	30.0

注) 自然増減数は「出生数－死亡数」、社会増減数は「入国者数－出国者数」。

なお、推計人口とは既存の統計を材料に計算された人口を示す。

『世界国勢図会 2024/25』より作成。

4. 下線部④について、次の表2は、金鉱、銀鉱、銅鉱の生産量上位5カ国を示したものである。表2中のA～Cは、オーストラリア、中国、ペルーのいずれかであり、X～Zは金鉱、銀鉱、銅鉱のいずれかである。ペルーに該当する記号と、銅鉱に該当する記号の組合せとして正しいものを、選択肢あ～けの中から選び、記号で答えなさい。

表2 金鉱・銀鉱・銅鉱の産出量上位国

	X	Y	Z
1位	チリ	B	メキシコ
2位	A	C	B
3位	B	ロシア	A
4位	コンゴ民主共和国	カナダ	C
5位	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国	ロシア

注)銅鉱は2020年、銀鉱は2021年、金鉱は2022年。

『世界国勢図会 2024/25』より作成。

【選択肢】

	あ	い	う	え	お	か	き	く	け
ペルー	A	A	A	B	B	B	C	C	C
銅鉱	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z

5. 下線部⑤について、次の説明文 A～D は、いくつかのレアメタルについて説明したものであり、A～D は、クロム、コバルト、チタン、リチウムのいずれかである。リチウムに該当するものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

【説明文】

- A 銀白色の硬い金属。錆びず、硬い特性を生かしてメッキや合金用などに利用される。
- B 光沢のある白色の軽金属。軽くて耐食性・耐熱性に優れ、ジェットエンジンやロケットの部品などに用いられる。
- C 灰白色の金属。酸にもアルカリにも耐性があり、磁力が強く、超硬質材料の合金などに使用される。また、顔料(着色剤)としても用いられる。
- D 銀白色で柔らかく軽い金属。携帯電話、電気自動車などの電池原料として使用される。また、陶器およびガラスにも用いられる。

6. 下線部⑥について、世界全体で見ると全ての人が食べるのに十分な食料が生産されているが、世界の飢餓人口は7億人以上と言われている。経済格差などによって穀物生産をめぐる需給バランスが崩れている理由を、次の語群の用語を全て用いて、80字程度で説明しなさい。

【語群】

エネルギー 商品作物 飼料